

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	予防接種事業			
予算科目	4 款 1 項 3 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 保健・医療の充実			
所管課情報	担当課: 健康増進課		電話番号(内線): 983-4052	
記入者情報	所属長: 室 潤子		担当責任者: 太森 真喜恵	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	乳幼児、児童、65歳以上の高齢者			
根拠法令等	予防接種法			
事業の目的	各種予防接種の実施により、伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。			
事業の内容	予防接種法上定められている疾病に対する予防ワクチン及び予防接種法に基づかない任意接種を医療機関に委託して個別接種を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	未接種者の未接種の理由の把握に努める。 育児相談や各種健診の場で、聞き取りを行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	92,880	99,162	29,034	92,489
	人件費	12,488	14,636	7,238	14,636
	合計	0	113,798	36,272	107,125
人件費 内訳	人工数	1.57	1.82	0.90	1.82
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	12,487	14,636	7,237	14,636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	105,368	113,798	36,272	107,125

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
定期接種(A類疾病)接種者	人	6769	6800	3159	6167
定期接種(B類疾病)接種者	人	8786	9000	657	8539
	人				

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	170,000	170,000	0	0	0	340,000

成果指標				
成果指標	MR(麻しん・風しん)2期予防接種の接種率			
指標設定の考え方	近年、免疫を持たない年齢層での麻しん・風しんの流行がみられており、社会に与える影響が大きかった。標準な接種期間にMR(麻しん・風しん)予防接種を受けることで、麻しん・風しんの発症を防ぎ、重篤な後遺症や先天性風しん症候群の発生をなくすることができる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0.97	0.97	0.97	0
実績	0.984	0.946	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	長期療養中のケースについて、主治医、保護者と連絡調整を行い、適切に接種ができるように努めた。今後もこのようなケースに対して、個別に丁寧にかかわる必要がある。 全体的に接種率が伸びなかったため、市民への周知や、接種勧奨のタイミング、方法を検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	予防接種の目的を達成するためには、接種率の向上が重要であるので、啓発活動に力を入れ、接種率の向上を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題